



2019年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年5月14日

上場会社名 シルバーエッグ・テクノロジー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3961 URL https://www.silveregg.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) トーマス・アクイナス・フォーリー
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役COO兼CFO (氏名) 梅森 正芳 TEL 06 (6386) 1931
 四半期報告書提出予定日 2019年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第1四半期の連結業績（2019年1月1日～2019年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第1四半期	234	—	18	—	18	—	11	—
2018年12月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2019年12月期第1四半期 6百万円 (—%) 2018年12月期第1四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第1四半期	4.08	4.06
2018年12月期第1四半期	—	—

(注) 当社は、2019年12月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2019年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率並びに2018年12月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第1四半期	1,005	911	90.7
2018年12月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2019年12月期第1四半期 911百万円 2018年12月期 一百万円

(注) 当社は、2019年12月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2018年12月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年12月期	—	—	—	—	—
2019年12月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年12月期の連結業績予想（2019年1月1日～2019年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	491	—	25	—	25	—	12	—	4.32
通期	1,023	—	75	—	75	—	39	—	13.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

当社は、2019年12月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）Silver Egg Technology Asia Limited、除外 1社 （社名）－

（注）詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期 1 Q	2,923,400株	2018年12月期	2,913,400株
② 期末自己株式数	2019年12月期 1 Q	42株	2018年12月期	42株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年12月期 1 Q	2,914,913株	2018年12月期 1 Q	2,904,274株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たったの注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種政策の効果によって雇用・所得環境の改善が続き、緩やかな回復基調にあります。また、海外情勢におきましては、米中の通商問題の動向、海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響等により、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

一方で、当社の事業が関連するBtoC-EC（消費者向け電子商取引）市場規模は、平成28年には15.1兆円（前年比9.9%増）となり、平成29年の日本国内のBtoC-EC市場規模は、16.5兆円（前年比9.1%増）まで成長しております。また、平成29年のネットショッピングを利用した世帯（2人以上の世帯）の割合も34.3%（前年比6.5ポイント増）と増加しており、引き続き電子商取引のさらなる拡大が見込まれております（経済産業省・総務省調べ）。

このような状況の中、当社は「AI（人工知能）クラウド型サービスで、あらゆるタッチポイントにおけるリアルタイム・パーソナライゼーションの実現」をミッションに掲げ、ECサイト運営企業、ウェブサービス企業向けに、AI（人工知能）を用いたマーケティング支援ツールである「リアルタイム・レコメンド・サービス」を提供してまいりました。

営業活動につきましては、既存業界であるアパレルや人材業界のみならず、新規顧客の受注増加及び、電子書籍等メディア業界のユーザーが増加したことにより、好調に売上が増加いたしました。また、新規顧客獲得に向けて、展示会出展やセミナー等を開催し、精力的に活動してまいりました。

研究開発につきましては、当社の次世代AIマーケティング・プラットフォーム「Aigent（アイジェント）7」の性能向上に注力してまいりました。また、見込み顧客可視化ツール「プロスペクター」につきましては、新機能強化に向けて開発を行い、2019年4月にLINE広告配信機能等を追加したサービスをリリースいたしました。引き続き、新たなバージョンアップに向けて研究開発を重ねてまいります。また、ビッグデータ連携につきましても開発の骨子を決定し、検証を進めてまいりました。

一方、子会社であるSilver Egg Technology Asia Limitedにおいては、3月に香港のAI・機械学習ベンチャー特化型スタートアップアクセラレーターZeroth（本社：香港）と業務提携を行いました。当社グループは子会社を通じてZerothに投資を行い、当社はZerothがサポートする有望な新技術および商用サービスの日本市場への投入により、戦略的ビジネスの創出を図るとともに、当社のアジア地域におけるライセンス事業およびパートナー事業に向け研究開発等を行ってまいりました。

今後もAI技術をベースにしたデジタルマーケティングサービスの提供を通じて、多様なマーケティング施策の効果向上を支援するとともに、あらゆるチャネルとデバイス上での、パーソナライゼーションによる付加価値向上を実現してまいります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益につきましては234,370千円となり、営業利益は18,218千円、経常利益は18,238千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は11,899千円となりました。

なお、当社グループは、レコメンドーションサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、1,005,833千円となりました。主な内訳は、現金及び預金735,258千円、売掛金144,330千円であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、93,929千円となりました。主な内訳は、未払金48,645千円、流動負債「その他」に含まれる未払費用21,156千円であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、911,903千円となりました。主な内訳は、資本金271,334千円、資本剰余金256,098千円、利益剰余金389,674千円であり、自己資本比率は90.66%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第1四半期連結会計期間においてSilver Egg Technology Asia Limitedを連結子会社としたことに伴い、2019年5月14日に通期連結業績予想を公表いたしました。

連結業績予想につきましては、2019年5月14日に公表いたしました「連結決算への移行に伴う通期連結業績予想に関するお知らせ」の数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	735,258
売掛金	144,330
その他	18,223
貸倒引当金	△50
流動資産合計	897,761
固定資産	
有形固定資産	29,669
無形固定資産	445
投資その他の資産	77,956
固定資産合計	108,071
資産合計	1,005,833
負債の部	
流動負債	
未払金	48,645
未払法人税等	8,605
その他	36,678
流動負債合計	93,929
負債合計	93,929
純資産の部	
株主資本	
資本金	271,334
資本剰余金	256,098
利益剰余金	389,674
自己株式	△134
株主資本合計	916,972
その他の包括利益累計額	
為替換算調整勘定	△5,068
その他の包括利益累計額合計	△5,068
純資産合計	911,903
負債純資産合計	1,005,833

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
営業収益	234,370
営業費用	216,152
営業利益	18,218
営業外収益	
受取利息	20
営業外収益合計	20
経常利益	18,238
特別損失	
関係会社整理損	182
特別損失合計	182
税金等調整前四半期純利益	18,056
法人税、住民税及び事業税	6,790
法人税等調整額	△634
法人税等合計	6,156
四半期純利益	11,899
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,899

（四半期連結包括利益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第1四半期連結累計期間 （自 2019年1月1日 至 2019年3月31日）
四半期純利益	11,899
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	△5,068
その他の包括利益合計	△5,068
四半期包括利益	6,831
（内訳）	
親会社株主に係る四半期包括利益	6,831
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結累計期間において、Silver Egg Technology Asia Limitedに増資いたしました。これに伴い、財務上の重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

なお、Silver Egg Technology Asia Limitedは当社の特定子会社に該当しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

当社グループは、レコメンデーションサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。